

# 木製パレット無料回収

## SDGsの目標達成へ

製紙パレット機構

製紙パレット機構(岩田壽明社長)は、設立以来半世紀にわたり紙の輸送保管に使われる貴重な木製パレットを全国から無料回収し、所有者に返却する活動を続けてきた。製紙会社はそのパレットを繰り返し利用することで大切な木材資源と地球環境を守ってきた。同機構は現在、SDGs(持続可能な開発目標)を前面に押し出し、「パレットを返そう。身近なSDGs」「誰でも出来る身近なSDGs 印刷加工後の製紙パレットを返そう。」と呼び掛け、回収実績の向上に努めている。

パレットはウッドショックやウクライナ危機などによる木材価格の高騰で価格が上昇している。20年ほど前に比べて2倍強に上がったともいわれ、価格が上昇しているため、不正流用の動きが加速している。また、物流業界が抱える「2024年問題」対策のためパレット化による「ホワイト物流」が促進されていることから、不正流用のリスクが高まっている。

「2024年問題」は、働き方改革関連法によって24年4月1日以降、自動車運転業務の年間時間外労働時間の上限が960時間に制限されることにより引き起こされる問題で、売上・利益の減少、人件費の増加、ドライバーの収入減それに伴う離職の増加、労働力不足などが懸念されている。パレット化は、こうした問題に対処し、ホワイト物流化を促進するための切り札として着目されている。製紙パレットは製紙会社

### 要確認!

製紙会社所有のパレットを



01 自社製品の運搬に使用



02 無許可で転売する

これらの行為は違法です。今すぐにご返却ください!

製紙パレットの不正流用は違法です。

全国無料回収

パレット回収のお申し込みはこちらから

株式会社 製紙パレット機構  
TEL:03-3248-4857  
FAX:03-3248-4858  
E-mail:kajitsu@spallet.co.jp  
ホームページ:https://www.spallet.co.jp

### パレット回収を呼びかけるチラシ

にある全小学校の約2万校のプール4杯分程に相当する環境面の貢献を知っていただきたい。木材資源の愛護にもなるし、同時に工場のコストダウンにもつながる」(岩田社長)

コロナ前の実績でみると、パレット450万枚を回収、立木45万本を救い、CO<sub>2</sub>11万1524トンの温暖化ガスを減少させている。

「回収率は、2022年の上半期は65・9%だった。前年は63・1%だったので、2・8ポイント上がっているが、依然として35%くらいが返ってこない。そのうちの2、3割弱くらいが不正に使われているか、廃棄されている。環境面とともに法的な面からも啓蒙活動を行い、さらに回収

を増やしたい。そのためチラシも作成している」(同社長)

岩田社長は「温室効果ガスの増加による地球温暖化で、豪雨・干ばつなどの異常気象や森林火災が発生している。パリ協定では、世界の平均気温の上昇を産業革命前の1・5度以内の上昇に抑え

ることとしたが、平均気温はすでに1・09度上昇してしまった。『地球は先祖から譲り受けたものではない。私たちの子孫から借りているものだ』というアメリカ先住民の言葉がある」と、パレット返却による環境貢献への意義、SDGs対応の重要性を強調する。

「目標12: つくる責任、つかう責任」は、パレットの回収・再利用で、循環的な消費と生産を推進する。

「目標13: 気候変動に具体的な対策を」は、木製パレットを回収し再利用する循環型システムによって、CO<sub>2</sub>排出量を削減する。

「目標15: 陸の豊かさも守ろう」は、木材の過度の伐採を防ぎ、良質な森林を守る。

「目標15: 陸の豊かさも守ろう」は、木材の過度の伐採を防ぎ、良質な森林を守る。

「目標15: 陸の豊かさも守ろう」は、木材の過度の伐採を防ぎ、良質な森林を守る。